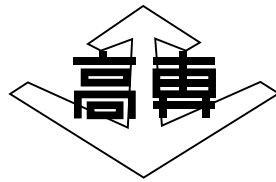


総合情報センター報

第 1 4 号



2 0 0 9 年 6 月

津山工業高等専門学校
総合情報センター

[巻頭言]

変化の多かった1年間の復習

総合情報センター長 田邊 茂

平成20年度は本校における電子計算機利用に関わる環境やルールなどが多く変更になった年度でした。それらの変更のなかで総合情報センターに関わる主要な事項をここで復習してみたいと思います。

1. 事務処理関係の変更

高専機構が全国全ての国立高専を対象に進めている事業として次の3つがあり、本報の前の号でこれらの特集を組みましたが、どれも平成20年度に本格的な導入が進みました。

- ・ Web 調達
- ・ Web 版出張旅費システム
- ・ KOALA（高専機構総合データベースシステム）

最初の2つは、事務処理の合理化を進めるために企業などでは同様なものが10年ほど前から導入されてきているものですが、高専においても事務処理簡素化の大きな潮流の中での動きだと思います。このこと自体は受け入れていくべきものかもしれませんが、Web 調達については実際の発注はまだ人間系でやっているのです。今後さらに合理化のための改善が必要だと思われます。また Web 版出張旅費システムは旅行命令書と出張報告を従来どおり紙で提出することが続いているので、こうした紙の帳票を削減していくことなど、改善点はまだまだありそうです。KOALA は事務部門を中心に利用が進んでいますので、今後はさらに活発に利用されて高専全体の情報の共有化の進展が期待されています。

2. ソフトウェアライセンスの管理台帳の統一

高専機構の主導のもとに、ソフトウェアライセンスの管理台帳を校内の全ての利用者が共通様式の台帳で管理するようにしました。これにより従来以上に組織的な管理がしやすくなりました。

3. 学術成果リポジトリ

本校の教員や学生などの学術成果を、インターネットを通じて公開する学術成果リポジトリを実施していくための要項ができました。具体的には図書館が登録資料の選定などを進めていきますが、総合情報センターとして公開のための支援をしていくことになります。

4. ドキュメント管理サーバおよびグループウェアの管理・運用のガイドラインの制定

本校では各種委員会議事録や関連資料などがわかり易く閲覧できるようになっていますが、それは適切なドキュメント管理サーバの運用・管理に負うところが大きいと思われます。また教員のスケジュール管理や事務部門からの情報伝達はグループウェア（サイボウズ）を便利に利用して行われています。これらの管理・運用を今後も適切に継続していくためのガイドラインを制定しました。利用者各自がこのガイドラインに則って今後も利用して頂きたいと考えます。

5. 情報セキュリティ環境の悪化とその対応

本校では、ほぼ全てのコンピュータが共通のアンチウイルスソフトの管理下におかれています。7月ごろまではほとんど報告がなかったものが、9月以降毎月10件以上が報告されるようになり、特に学生のUSBメモリーを介したウイルス感染が急増しました。これの対策として本号の特集で新しいアンチウイルスソフトの導入について説明記事がありますが、新しいウイルスの誕生とその駆除対策はたちどろこの状況です。ウイルス対策ソフトも大事ですが、それと同時にコンピュータを利用する各人がウイルス感染に対する注意を常に払っていることが大事です。総合情報センターとしては、年2回の教職員向けのセキュリティセミナーの開催、4年生への情報セキュリティ用資料の作成と周知の依頼を従来からしてきましたが、平成20年度は学生向け情報倫理ガイドラインを作成して教務委員会を通じて全学生への周知をお願いしました。コンピュータウイルス対策については今後も継続して注意を払っていく必要があります。

以上のように平成20年度の総合情報センターに関わる、教職員や学生に目に見える形で現れた主要な動きを復習してみました。環境の変化の中で我々の守備範囲は広がっています。今後も教育用電子計算機システムの運用・管理、情報ネットワークの運用・管理および教育研究のための利用支援などを積極的に行っていきますが、必要な情報の提供など皆さんからのご協力も是非お願い致します。

目 次

[巻頭言] 変化の多かった1年間の復習

総合情報センター長 田邊 茂

[特集] ESET NOD32 アンチウイルス V3.0

専門教員 寺元貴幸・専門職員 日下孝二 … 1

[報告]

1. 部門報告

1. 1 教育情報システム運用管理部門

副センター長 長井 聡 …… 8

1. 2 情報ネットワーク運用管理部門

副センター長 佐々井祐二 … 1 0

1. 3 事務処理システム運用管理部門

副センター長 竹谷 尚 …… 1 3

[資料]

1. 新規導入ハードウェア・ソフトウェア一覧 …… 1 4

2. 平成20年度授業・研究利用状況 …… 1 5

2. 1 授業での利用 …… 1 5

2. 2 研究での利用 …… 1 6

2. 3 総合情報センター利用者数一覧（マルチメディア室を除く） … 1 8

3. 開放利用 …… 1 8

4. 委員会報告（平成20年4月から平成21年3月まで） …… 1 9

4. 1 学術情報委員会 …… 1 9

4. 2 総合情報センター運営小委員会 …… 2 0

4. 3 総合情報センター連絡会 …… 2 1

5. 主要日誌（平成20年4月から平成21年3月まで） …… 2 1

6. 総合情報センターの予算執行状況 …… 2 3

7. 平成21年度総合情報センター利用授業時間割 …… 2 5

8. 平成21年度総合情報センター関連の委員と職員 …… 2 7

8. 1 学術情報委員会委員 …… 2 7

8. 2 総合情報センター運営小委員会委員 …… 2 7

8. 3 総合情報センター職員 …… 2 8

9. 津山高専教職員のメールアドレス	28
10. 総合情報センターシステム構成図	32
編集後記	

〔 特 集 〕

ESET NOD32 アンチウイルス V3.0

ESET NOD32 アンチウイルス V3.0

総合情報センター専門教員 寺元貴幸・専門職員 日下孝二

〔新規 クライアントインストール編〕

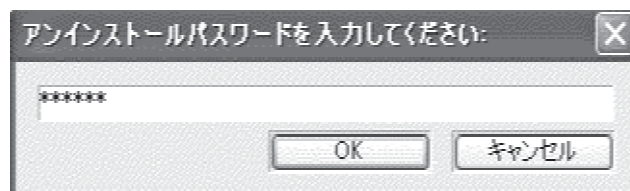
●Symantec AntiVirus Corporate Edition のアンインストール手順（１）

1. 現在、コンピュータにインストールされている Symantec AntiVirus をアンインストールする必要があります。

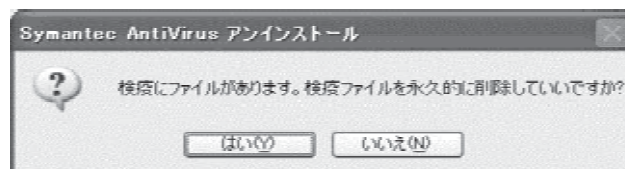
Windows のスタートメニューで [コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除] - [Symantec AntiVirus] を選択し [削除] をクリックします。



2. アンインストールパスワード入力画面が表示されますので [delete] と半角小文字で入力し、[OK] をクリックします。



※ [OK] クリック後、検疫にファイルがあった場合は下記の画面が表示されます。[はい] をクリックしてください。



3. アンインストール処理実行後、再起動をします。[はい (Y)] をクリックしてください。

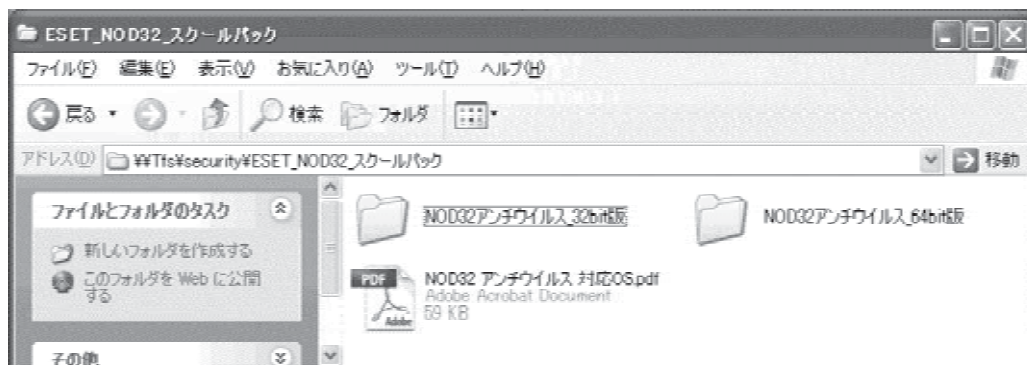
●Symantec AntiVirus Corporate Edition のアンインストール手順（２）

状況により Symantec AntiVirus が正しくアンインストールできない場合があります。このとき Symantec を完全に削除するツールがあります。

1. [マイ ネットワーク] – [ネットワーク全体] – [tfs-domain] – [tfs] にアクセスします。
2. [security] [Symantec ツール関係][シマンテック製品の情報を削除するアンインストールツール][CleanWipe_v4.1]のフォルダが存在します。
3. このフォルダをデスクトップもしくはローカルディレクトリにコピーし中の [CleanWipe.exe]を実行します。
4. アンインストールのための質問がいくつか出てきますが、基本的にすべて「Yes」で答えます。
5. 再起動を 2 回（1 回目に AntiVirus を削除 2 回目に LiveUpdate の削除）行います。

●ESET NOD32 アンチウイルスV3.0のインストール手順

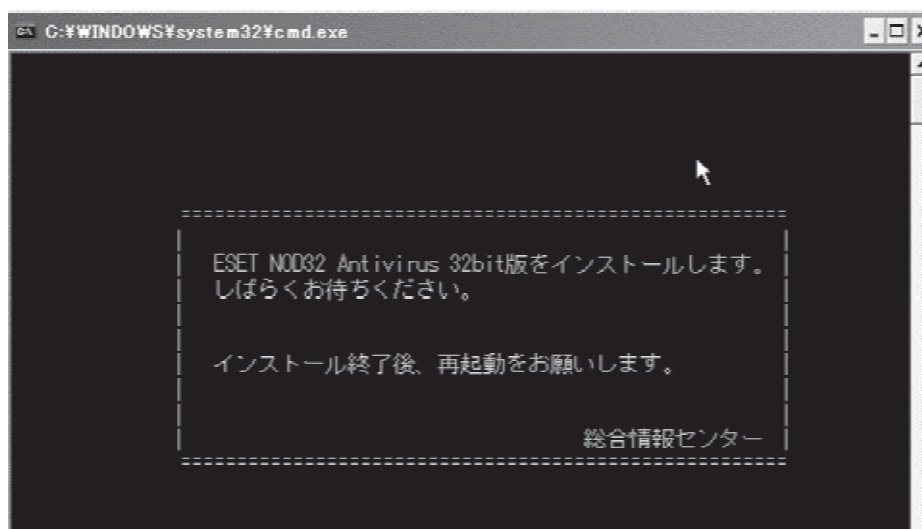
1. [マイ ネットワーク] – [ネットワーク全体] – [tfs-domain] – [tfs] にアクセスします。
2. [¥¥Tfs¥security¥ESET_NOD32_スクールパック] フォルダ以下に「NOD32 アンチウイルス_32bit 版」と「NOD32 アンチウイルス_64bit 版」のフォルダが存在します。



3. 例えば 32bit 版の場合、「NOD32 アンチウイルス_32bit 版」フォルダを任意の場所（例えばデスクトップ）にコピーしてください。
コピーした「NOD32 アンチウイルス_32bit 版」フォルダを開き「Install_ESET_32.bat」ファイルをダブルクリックしてインストールを開始します。



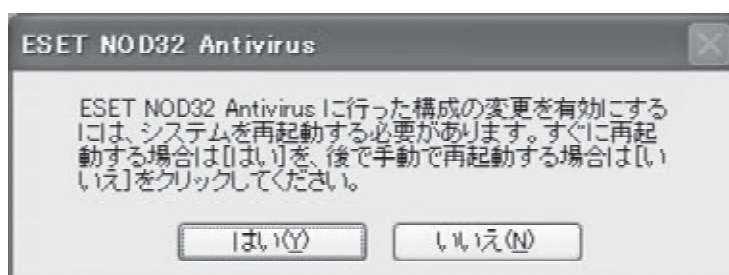
4. 以下のメッセージが表示されます。



5. しばらくするとセットアップ中の画面が表示されます。



6. インストールが終了すると「再起動」を促すメッセージが表示されますので「はい」をクリックして再起動を行ってください。



7. インストール終了後、デスクトップにコピーした「NOD32 アンチウイルス _32bit 版」フォルダは削除してください。
8. その他エラーメッセージ等が表示された場合は、総合情報センターまでご連絡下さい。

●最新ウイルス定義ファイルの確認

1. デスクトップ右下の緑色の目玉アイコンをダブルクリックします。
2. 「ウイルス定義データベースのバージョン：」の（ ）内の日付を確認します。例：(20090608) 2009年6月8日



3. 古い日付の場合は最新のウイルス定義ファイルに更新する必要があります。左側の「アップデート」－「ウイルス定義データベースをアップデートする」をクリックします。



4. ウイルス定義データベースのアップデート後、「ウイルス定義データベース

のバージョン」の日付を確認してください。

5. 左側の「コンピュータの検査」－「標準検査」をクリックしてウイルスチェックを行ってください。

[ESETのウイルス定義ファイルの手動アップデート方法]

ここでは一旦手動アップデートを行った後、通常のアップデートを行う方法を説明します。次のような場合に実施してください。

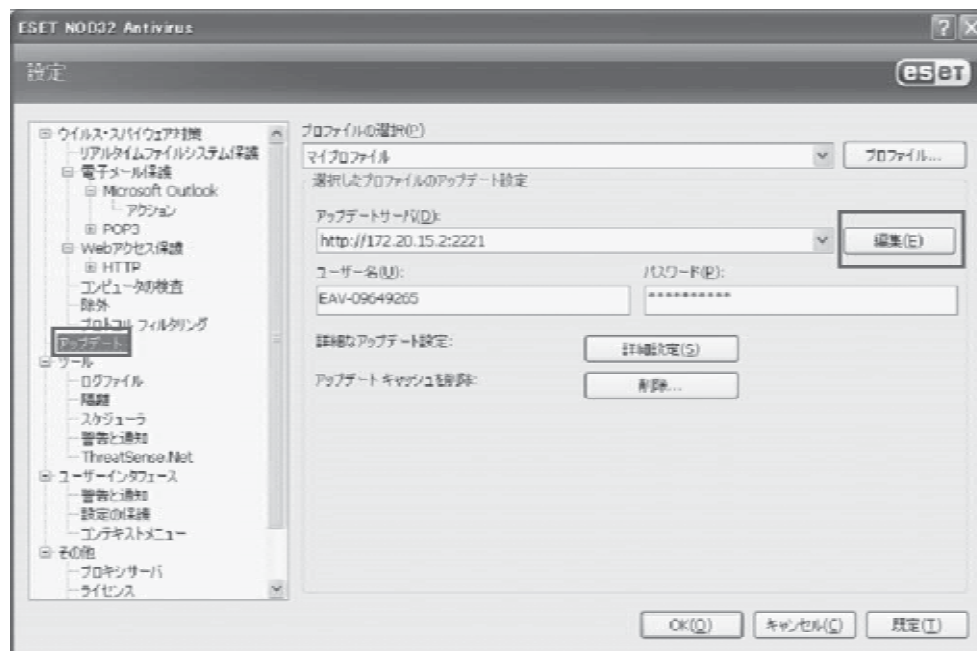
- ・ ESET のウイルス定義ファイルダウンロードエラーが発生した場合。
- ・ ネットワークに接続していないクライアントに対しオフラインでウイルス定義ファイルを更新する場合。

1. 最新のウイルス定義ファイルの[mirror]フォルダを C ドライブにコピーします。（例：C:\mirror）

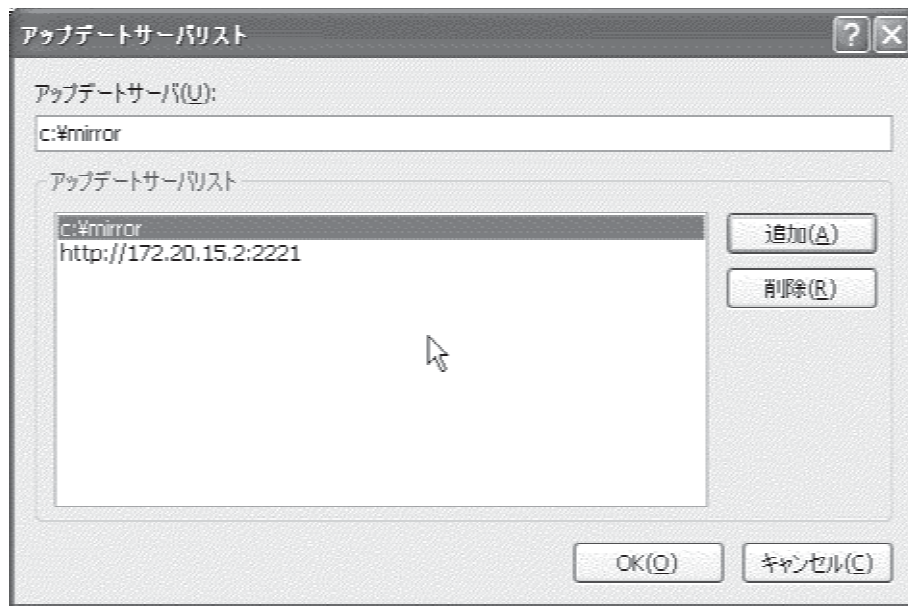
最新のウイルス定義ファイルは常に tfs の以下の場所に展開されています。

¥¥Tfs¥security¥ESET_NOD32_スクールパック¥ウイルス定義ファイル¥mirror

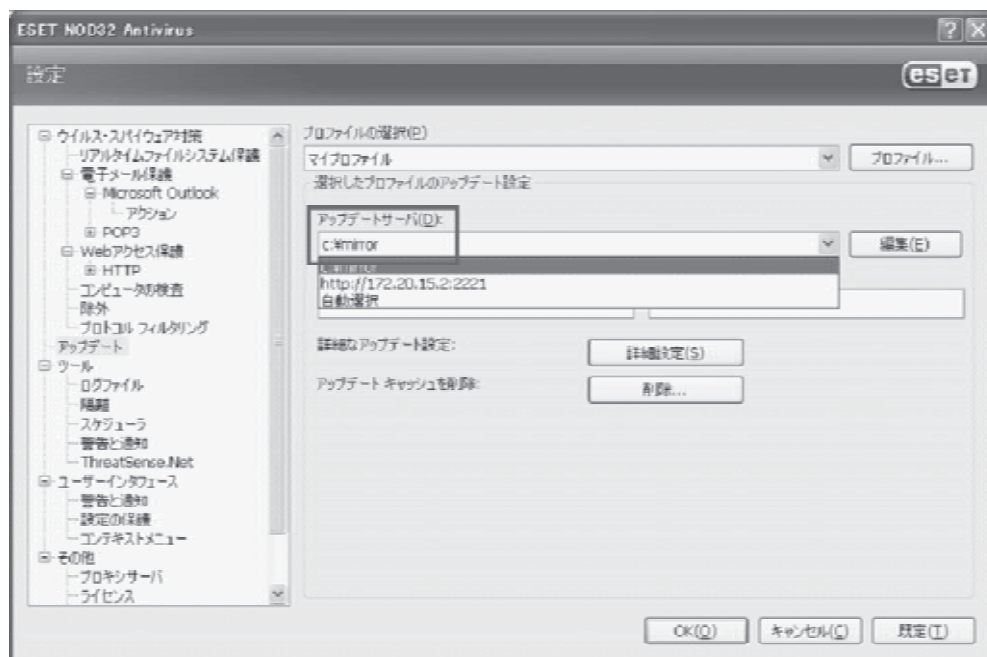
2. システムトレイ（デスクトップ画面右下）内の「ESET NOD32 Antivirus」アイコンをダブルクリックして「基本画面」を開きます。
3. キーボードの【F5】キーを押して、設定画面を開きます。
4. 画面左に表示されるツリーの「アップデート」をクリックして「編集」ボタンをクリックします。



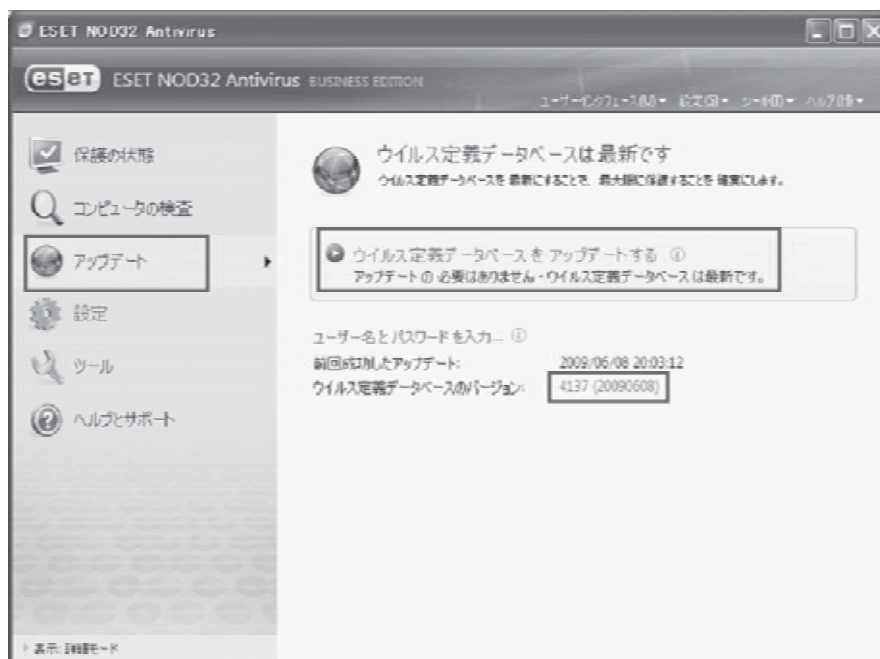
5. 「アップデートサーバ」に、コピーした「mirror」フォルダのパス（例：C:\mirror）を入力し、「追加」ボタンをクリックします。



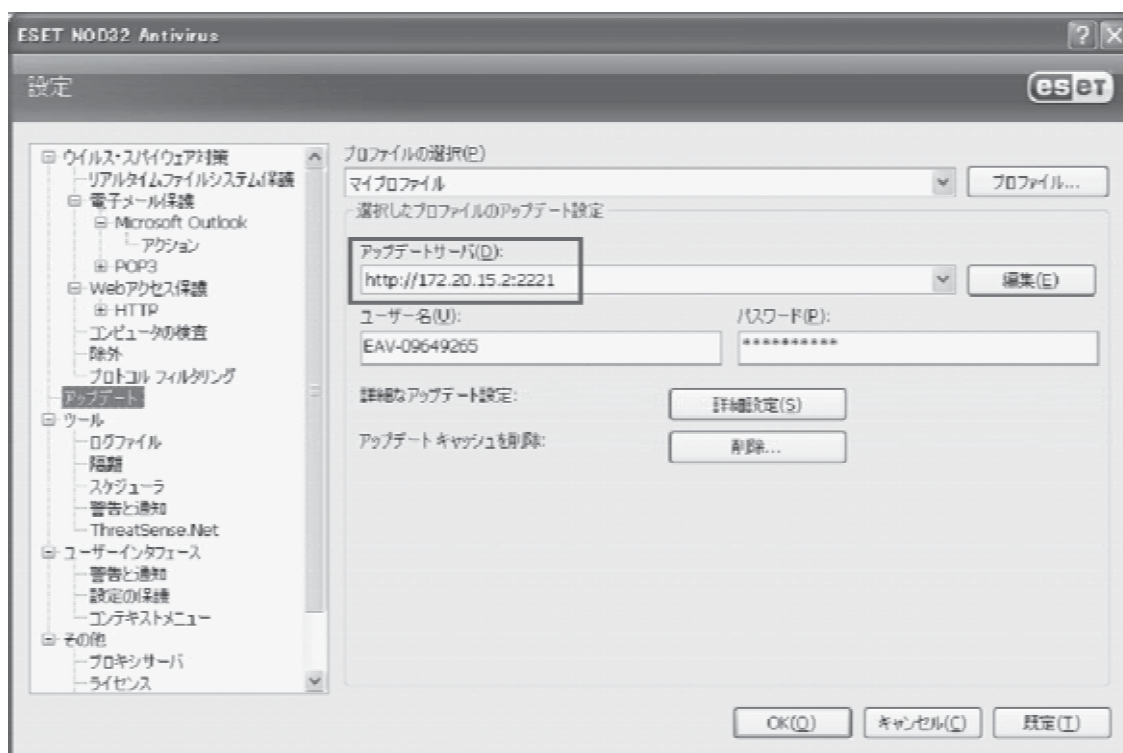
6. 「アップデートサーバリスト」に追加されたことを確認して「OK」ボタンをクリックします。
7. 「アップデートサーバ」プルダウンメニューより、5.で設定したフォルダパス（例：C:\mirror）を選択します。



8. 「OK」ボタンをクリックします。
9. 基本画面左側の「アップデート」を選択します。「ウイルス定義データベースをアップデートする」をクリックします。
10. アップデートが正常に完了することをご確認ください。



11. その後、アップデートサーバの設定をミラーサーバ(<http://172.20.15.2:2221>) に戻して「編集」ボタンをクリックして、「追加」した「C:\¥mirror」を選択して、「削除」ボタンで削除してください。



12. 再度「ウイルス定義データベースをアップデートする」をクリックし、ミラーサーバ更新が可能かを確認してください。

[報告]

1. 部門報告

1. 1 教育情報システム運用管理部門

副センター長 長井 聡

教育用システムは更新から 3 年目になります。管理者はじめ皆様のご協力により偶発故障などが見られるものの、ほぼ安定に運用できています。また、今年度は次期教育用システムの仕様を策定する予定です。

(1) 授業・実習担当者向け説明会

毎年授業・実習で情報センターを利用される教職員向けに毎年 4 月初めに実施しています。今年度は大きな変更等はありませんでした。

(2) 高学年向けセキュリティセミナー

前年度に続き 4 年生を対象にセキュリティ教育を行いました。本校では 1 年生にセキュリティを含む情報リテラシー教育を行っていますが、高学年に対しては十分とは言えないため、授業担当者をお願いして実施しました。

(3) 情報倫理ガイドラインの策定と周知

(2) に加えて機構本部からの指示により総合情報センターにて情報倫理ガイドライン策定し、教務委員会を通じて全クラスに周知を行いました。近年、インターネットに関係したトラブルが急増しており、常に啓発を行っていく必要があります。

(4) マルチメディア室・応用情報演習室の AV 機器の整備・更新

年度末にマルチメディア室・応用情報演習室の整備が認められ、AV 機器の新規導入・更新を行いました。これによりハイビジョン放送・ブルーレイソフトの視聴などが可能になりました。主な内容は以下の通りです。

・マルチメディア室

ハイビジョンプラズマテレビを新規導入(46 インチ・フル HD)

ブルーレイレコーダを新規導入(HDD 500GB)

AV アンプを更新

ワイヤレスマイクを更新

・応用情報演習室

ハイビジョン対応プロジェクタを設置

ブルーレイレコーダを新規導入(HDD 250GB)

津山工業高等専門学校 情報倫理ガイドライン

本ガイドラインはコンピュータや携帯電話などの情報システムを利用する時に守らなければならない事項を抜粋したものです。これらの遵守事項を守らないと本人・学校の信用を失墜させたり、名誉を傷つけたりするだけでなく、法的な問題に発展する可能性があります。十分注意して下さい。

本校の情報システムは勉学・研究など学生本来の活動のため以外に使用しない

名誉毀損・誹謗中傷・人権侵害・セクシャルハラスメントになるような情報発信をしない

個人情報など秘密にしなければならない情報を漏らさない

他人のプライバシー・著作権・肖像権・知的財産権などを侵害しない

嘘の情報を掲示板に書き込んだりホームページ上で公表したりしない

法律やモラルに反する方法で情報を取得したり発信したりしない

学内のパソコンの設定を勝手に変更するなど情報システムの円滑な利用・運用の妨げとなる行為をしない

ウイルスに感染する危険のあるホームページにアクセスしたり、メールの添付ファイルを不用意に開かない

例えば、次の行為は情報倫理ガイドライン違反です。

- ・ 全員の了承を取らずにクラス名簿をホームページで公開した。
- ・ インターネット上の掲示板に他人の悪口や噂話を書き込んだ。
- ・ ファイル交換ソフトで違法に公開されていた映画や音楽などをダウンロードした。更にダウンロードした情報を自分も公開した。
- ・ 腹の立つ相手にウイルス付きメールを送った。

パスワードを他人に教えたり、メモを貼り付けたりしないよう注意して下さい

1. 2 情報ネットワーク運用管理部門

副センター長 佐々井祐二

情報ネットワーク運用部門の活動に関して、平成20年度もおおむね安全かつ安定にネットワークサービスを提供できたと考えています。ネットワークサービスの停止も、皆様のご協力により、全国的に見てもほぼ最短の数分程度で済ませることができました。また、メーリングリストに対する大きいサイズの添付ファイル付メール送信、また、学生によるビデオの長時間ダウンロードによるネットワークトラフィックへの影響は、例年に比べて減少しているようです。引き続きネチケット向上にご協力をお願いします。

また、今年度はウィルス発見・感染例が多く、ウィルス対策ソフトの変更を実施しました。ウィルスに感染しないためには、OSのアップデートとウィルスパターンファイルの最新版への更新が基本です。より一層、セキュリティ意識の向上にご協力をお願いします。

MS-Windows 系パソコンならびにネットワークサーバのセキュリティ対策などを中心に、本部門の活動概要を報告します。

(1) コンピュータウィルス対策

コンピュータウィルスも、偽ウィルス対策ソフトまで登場するなど、近年益々巧妙になり、その脅威も増大しています。ウィルス対策のためには、MS-Windows 系パソコンのアップデートとウィルス対策ソフトウェアのパターンファイルの更新を適切に行う必要があります。

Windows XP ユーザーもかなりいると思います。2008 年 5 月に提供が始まった Service Pack3 についても、未対応であればアップデートをお願いします。自動更新がデフォルトの「自動（推奨）」になっていれば、既にアップデートファイルをパソコン内にダウンロード済みであると思います。もし、ダウンロードの必要があれば、ファイルサーバにあるアップデートファイルを利用下さい。アップデートに必要な時間はパソコンの CPU 能力とハードディスク空き容量にもよりますが、30 分から 1 時間程度です。また、Windows Vista についても Service Pack 2 が近々提供されるようです。

ウィルス発見についてセンターから PC 管理者への連絡は、通常、月に 2, 3 件程度です。これまで、Web サイトの閲覧や電子メールによるウィルス発見例の他にパソコンに挿した USB メモリからの発見もありましたが、ウィルス対策ソフトウェア（シマンテック AntiVirus Corporate Edition）によりほぼ適切に駆除さ

れていました。しかし、10月よりセンターからPC管理者への連絡が月10件程度に増えています。学生が、ウィルス感染しているUSBメモリをセキュリティの甘いパソコンに挿すことで、特定学科の3年生と5年生の学生間で、W32.Gammima, W32.Gammima.AG, Trojan.Packed.NsAntiなどのウィルスが拡散、各研究室で駆除を実施したこともありました。また、AntiVirusで駆除できないウィルスも登場し、なかなかウィルス拡散が終息しないので、特集に紹介のあるキャンノン ESET NOD32 アンチウイルス V3.0を導入し、3月に校内へ周知しました。ウィルス対策ソフトのキャンノン ESET への変更を早急にお願いします。また、情報の漏洩を防ぐために、スパイウェア対策ソフトウェアをセンターホームページを参考に利用して下さい。

USBのウィルス感染源は、やはり学生の自宅パソコンが多いようです。自宅パソコンに試用期間が過ぎたウィルス対策ソフトしか入っていないことが、多々あるようです。無料でもしっかりしたウィルス対策ソフトもありますし、学生のセキュリティ意識を高める教育を全校的に行う必要があります。

Micorosoft社のWindows系パソコンに対するアップデートの情報は、これまでどおり「緊急」またはそれに類すると判断した場合に、総合情報センターから全員に連絡しています。平成20年度にMicorosoft社の脆弱性および関連したアプリケーション等、セキュリティ関連で連絡したのは次のとおりです。

- 平成20年4月3日 Windowsセキュリティ情報, FireFoxの脆弱性
- 平成20年4月9日 Windowsセキュリティ情報(MS08-018～MS08-025)
- 平成20年5月14日 Windowsのセキュリティ情報(MS08-026～MS08-029)
- 平成20年6月3日 ブラウザSafariのセキュリティ情報
- 平成20年6月4日 Macセキュリティ情報 2008-003 / Mac OS X 10.5.3
- 平成20年6月11日 Windowsセキュリティ情報 (MS08-030～MS08-036)
- 平成20年6月24日 Adobe Acrobat 及び Adobe Reader セキュリティ情報
- 平成20年8月18日 Windowsセキュリティ情報(MS08-041～MS08-051)
- 平成20年10月17日 Windowsセキュリティ情報(MS08-056～MS08-066)
- 平成20年11月14日 Windowsセキュリティ情報(MS08-068, MS08-069)
- 平成20年12月12日 Windowsセキュリティ情報(MS08-070～MS08-077)
- 平成20年12月15日 Windows XP上のInternet Explorer 7 (IE7)の未知の脆弱性を使った攻撃「ゼロデイ攻撃」について周知
- 平成20年12月18日 Windowsのセキュリティ情報(MS08-078)
- 平成21年1月16日 Windowsのセキュリティ情報
- 平成21年2月16日 Windowsのセキュリティ情報(MS09-002～MS09-005)

(2) ネットワークサービスの維持・向上

電子メール・Web ページなどのネットワークサービスは、非常に重要な役割を担っており、安定的で高品質なサービス提供は本部門の重要な任務です。このため、通信機器・経路の維持管理、ネットワークサーバの安定運用、さらにサーバの適切な設定によるサービス品質の向上に務めています。

通信機器については、平成 18 年度に実施したセンタースイッチ、フロントスイッチ、エッジスイッチの更新以降変化はありません。

ネットワークの安定運用では、定期的なハードウェアの更新に努めており、平成 20 年度は、学外接続用 Proxy サーバ、学内メールサーバ、SINET 側ゲートウェイサーバ、ドキュメントサーバの 4 台を更新しています。これらサーバの内ネットワーク系サーバ 3 台は FreeBSD などオープンソースソフトウェアを利用し、RAID を基本とし、複数バックアップにより、安定で安心なサービスを提供しています。また、システムのパッチ当てやプログラム更新も前年度に比べて 2 倍以上の 61 回行い、常に最新の状態を保っています。

サービス品質の向上では、日々、迷惑メールを予防できるよう努めています。学外から転入された方は驚かれることかと思いますが、いわゆる迷惑メールがほとんど着信しない快適なメール環境を実現できています。ウィルス未添付のいわゆる迷惑メールは、宛先アドレスが正確であれば届いてしまいます。本校では、一度迷惑メールを送ってきた IP アドレスをブラックリストに追加し、以降の着信を拒否します。しかし、費用を掛けないで効率的に制限できる反面、何件かの過剰設定も判明しました。ご迷惑をおかけしますが、届くべきメールが届かなかった場合には、システム管理者(help)に速やかに連絡をいただくよう、お願いいたします。

ユーザーの利便性向上のため、VPN (Virtual Private Network) の導入を行いました。VPN を使うと、自宅等、学外のパソコンがあたかも学内にあるかのように学内サービスを利用することが可能となります。つまり、学外から校内メールサーバやサイボウズなどの利用が可能となります。

今年度は、VPN の運用を開始し、サイボウズのリモートサービスの検討の予定です。

(3) その他

上記以外に、掲示板システムの運用支援、学術ネットワークと岡山情報ハイウェイとの作業によるネットワークの一時停止案内、教育用システムの整備支援、

日常の運用管理（ユーザの管理，公式ホームページの運用とコンテンツ更新，メーリングリストの管理，ネットワーク機器障害への対応，不正使用のチェックなど）等，これまで通りの各種活動も行っています。なお，独立行政法人メディア教育開発センター（N I M E）により運営されてきた S C S 事業の運用停止に伴い，本学の S C S 装置を 3 月に撤去しました。

1. 3 事務処理システム運用管理部門

副センター長 竹谷 尚

当部門では，昨年度更新されました tds3 の共有ファイルの書き込み，各委員会フォルダのアクセス権者の設定を行っています。これに関連して平成 20 年度 4 月に教職員が共有する情報を管理する tds3，tfs およびグループウェア（サイボウズ office4）の使用に関するガイドラインを作成しております。ガイドラインでは共有する情報に必要なセキュリティの度合いにより，tds3 やグループウェアを使い分けています。なお，tall で添付ファイルを配信することは学内専用ホームページ『総合情報センター』情報発信・情報交換『電子メールの添付ファイルに関する注意喚起（総合情報センター）<http://www.center.tsuyama-ct.ac.jp/sougouj/info/tenpu01.htm>』に示す問題点もありますので，グループウェアの掲示板を活用して，ネットワークへの負荷を軽減するようお願いします。さらに，グループウェアのスケジュール機能を有効利用して，各種行事等の調整に活用できるようにお願いします。

[資料]

1. 新規導入ハードウェア・ソフトウェア一覧

平成20年度に新規に導入された主要なハードウェアとソフトウェアを報告します。

(1) 教育用電子計算機システムの機能強化用物品とソフトウェア

- ・ Symantic AntiVirus Corporate Edition 11.0
- ・ ESET NOD32 Antivirus
- ・ MSDN アカデミックアライアンス
- ・ Math Type 6
- ・ Ngrapf
- ・ 天吊型液晶プロジェクター EPSON (基礎情報演習室・応用情報演習室)
- ・ ハイビジョンブルーレイレコーダ Panasonic (応用情報演習室)
- ・ スプリング式スクリーン 120 型 (応用情報演習室)
- ・ マルチメディア室AV機器更新

(2) ネットワークサーバ更新用物品等

- ・ サーバ (TRQX-1/50SA)
- ・ サーバ (TRQC-1/32SA)
- ・ ハードディスク (日立製 HDP725050GLA360 500G SATA300 7200)
(TS-OPHD-H2.0TGL 500G)
(外付け HD-HES1.0TU2)
- ・ NetScreen-Remote VPN Client 8
- ・ RAID ベアボーンキット (ES-A08S-C2131/512/E1000-8/C)

(3) 事務用パソコン等

- ・ PC-Transfer 翻訳スタジオ 2009 プロフェッショナル
- ・ NetJapan Partition Manager 8.5 Professional
- ・ Canon プリンタ PIXUS MP630

2. 平成20年度授業・研究利用状況

2.1 授業での利用

表 部屋別授業科目一覧

マルチメディア室	電気電子創造演習Ⅱ [E-3] 情報処理Ⅰ [E-1・S-2] 電気電子実験課題演習 [E-3] プログラミングⅡ [C-2] プログラミング言語 [C-3] CAD/CAM [S-5] 電子制御創造演習Ⅰ [S-2] 電子制御創造演習Ⅱ [S-3] 創造英語 [4年全学科] 数値解析 [S-5] 実践英語Ⅰ [専-1] 実践英語Ⅱ [専-2] 情報科学 [専-1]
基礎情報演習室	情報工学実験Ⅰ [C-1] 機械設計設図Ⅲ [M-3] 電子制御基礎 [S-1] 機械工学実験実習Ⅱ [M-2] 電子制御工学実験Ⅲ [S-5] 情報処理Ⅰ [M-3] 情報処理Ⅱ [S-3・E-4・M-5] 電子制御課題研究Ⅱ [S-3] 設計製作課題演習 [M-4] 理科課題研究 [5年全学科] プログラミングⅠ [C-1] 電子制御工学実験Ⅰ [S-3] 応用機械設計 [M-5]
応用情報演習室	情報工学実験Ⅲ [C-3] 電子制御実習Ⅰ [S-1] 情報工学実験Ⅱ [C-2] 機械工学実験実習Ⅳ [M-4] 情報処理基礎演習Ⅰ・Ⅱ [専-1] 機械工学実験実習Ⅲ [M-3] 情報工学実験Ⅳ [C-4] 電子制御工学実験Ⅲ [S-5] 情報処理特論 [E-5] 計算力学 [専-2]

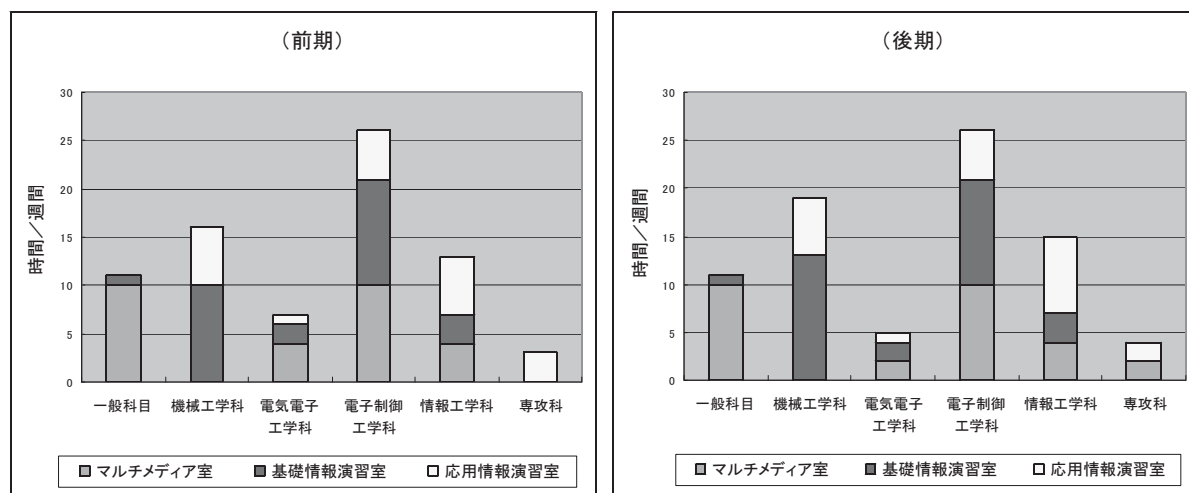


図 部屋別・学科別の利用時間

2. 2 研究での利用

(1) 卒業研究・専攻科特別研究

電子制御工学科 竹谷尚研究室

- ・ニューラルネットワークによる積雪情報推定に関する研究 上藤和弘
- ・遺伝的アルゴリズムを用いた人工生命の生産性の振る舞い 谷口孝仁

情報工学科 菊地洋右研究室

- ・Gale-Shapley アルゴリズムの実装 畑 良知
- ・安定結婚問題の並列化 ナナ
- ・スコア付き安定結婚問題 松田 和

情報工学科 藤田一寿研究室

- ・図形の状態に依存しない視覚形状認識のための神経機構 大森崇広
- ・コンピュータシミュレーションによる ETC 設置条件の検討 重面有里
- ・複雑ネットワークにおける協力行動の進化的安定性 森本竜広

情報工学科 岡田 正・平田克己研究室

- ・情報基礎教育用教材の整備と Web サイトでの公開 黒田 翼
- ・小規模な LAN の構築と管理環境整備 茂兼千明
- ・オープンソースによる情報提供・共有システムの構築 吉田真澄
- ・環境に依存しない安全なデータ共有システムの検討 カムルル

情報工学科 曾利 仁研究室

- ・画像処理技術の学生実験への導入 水島由郁

情報工学科 藪木 登研究室

- ・動的ネットモデルを用いたパターン認識 歴舎朋矢

情報工学科 河合雅弘研究室

- ・X3D を用いた 3DCG の検討 上山航平
- ・Web3D 技術を用いた 3D グラフィックスの検討 守分さとみ

情報工学科 宮下卓也研究室

- ・携帯ゲーム端末を用いた e-Learning システムの表示形式の改善 福田大祐
- ・教育用 PC の利用状況収集機構の開発 景森美之
- ・認証プロキシを用いたアクセス制限機能付き無線 LAN 環境の改善 小池佳央
- ・オープンソースソフトウェアを利用したネットワーク監視システムの構築 田淵 基
- ・初心者向けの認証付きネットワーク共有サービスの構築 井上 透

情報工学科 大平栄二研究室

・地元企業のレンタル業務管理データベースの開発	梅野竜一
・OpenOLAP を用いたデータウェアハウスの開発	三好 愛
・携帯電話を使ったオリエンテーリングシステムの改良	桑原里枝
情報工学科 坂井良広研究室	
・自動採譜システムに関する検討	今西彩佳
・進路活動支援データベースの検討	上山祐信
・ブラインド信号分離に関する検討	下山達也
・信号処理データベースに関する検討	山田理絵
情報工学科 寺元貴幸研究室	
・授業支援システムを用いた学習情報の表示システムの作成	青山亮太
・出雲街道資料のデジタルアーカイブとウェブ公開に関する調査	小中優子
・三次元デジタイザを用いた埋蔵物の測定とレプリカの作成	定森竜太

(2) 教員の利用

学外のコンピュータと NAT または SSH を使用して接続利用

情報工学科	坂井良広
研究題目	: 信号分離を用いた適応フィルタに関する研究
接続相手先	: 電気通信大学情報通信工学科
情報工学科	寺元貴幸
研究題目	: 物理数値シミュレーションプログラムの領域分割による並列化支援
接続相手先	: 宇都宮大学電気電子工学科 川田研究室
情報工学科	大西 淳
研究題目	: 論理回路を対象としたタイミング検証の高速化に関する研究
接続相手先	: 岡山大学工学部通信ネットワーク工学科 杉山研究室
情報工学科	岡田 正
研究題目	: インターネット経由の安全な接続に関する検討
接続相手先	: 学外設置サーバ
一般科目	吉田英治
研究題目	: 保型関数のスペクトル理論
接続相手先	: 九州大学大学院数理学研究科
情報工学科	宮下卓也
研究題目	: 分散システムの運用に関する研究

接続相手先：岡山大学総合情報基盤センター	
情報工学科	菊地洋右
研究題目	：アルゴリズム論
接続相手先	：東京大学大学院情報理工学系研究科 コンピュータ科学専攻 今井研究室 独立行政法人 科学技術振興機構 量子情報システムアーキテクチャ
専門共通科目	佐々井祐二
研究題目	：ランダム行列理論と有限密度状態の量子色力学
接続相手先	：広島大学情報メディア教育研究センター
情報工学科	曾利仁
研究題目	：ネットワークサービスを用いた創造教育システムの構築
接続相手先	：有限会社アイ・エス・ティ

2. 3 総合情報センター利用者数一覧（マルチメディア室を除く）

＊このデータは、総合情報センター事務室前の自動計測器で計測されたもので、正確な利用者数ではありません（合計人数を2で割ったもの）。おおよその目安とお考えください。

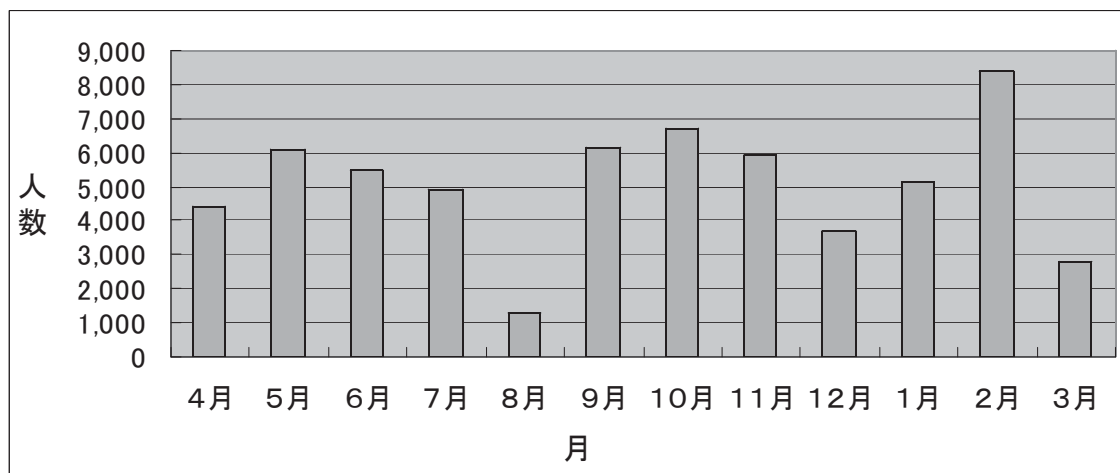


図 平成20年度利用者人数

3. 開放利用

情報総合センターでは平成20年度に公開講座・見学などで、多くの学外の方に来ていただきました。こうした学外者向けの開放利用について、概要を紹介し

ます。

(1) 公開講座「パソコンを活用した情報発信」

7月12日(土)、13日(日)、19日(土)、20(日)、26日(土)、27日(日)の6日間に、一般市民を対象として、デジカメの基本原理・機能・使い方を学び、パソコンで加工処理し情報発信する方法等を学習してもらう講座をマルチメディア室にて、本校教員(寺元ほか)が担当して、29名の受講者で実施しました。

(2) 公開講座「フラッシュアニメーションに挑戦」

8月5日(火)に小学5年生から中学3年生を対象として、Webアニメーションデザインツールを使ってパーツを組立てストーリーを考えアニメーションを作る講座をマルチメディア室を使い、本校教員(佐々井ほか)が担当して、17名の受講者で実施しました。

(3) オープンキャンパス2008

8月22日(金)と23日(土)に93名の中学生が訪れ、その内43名が3次元コンピュータグラフィックス(3DCG)作成用ソフトを使って簡単なキャラクター作成及びアニメーションの作成を体験してもらいました。

(4) 出前講座「パソコン講座」

12月13日(土)、21日(日)に受講者20名でマルチメディア室を使い実施しました。

(5) 高等専門学校等を活用した中小企業人材育成事業 CAD セミナー

1月17日(土)、31日(土)、2月7日(土)、14日(土)に受講者7名で応用情報演習室を使い実施しました。

(6) 社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム基礎コース

2月12日(木)、3月12日(木)、19日(木)、23日(月)に受講者15名で応用情報演習室を使い実施しました。

4. 委員会報告 (平成20年4月から平成21年3月まで)

センター長 田邊 茂

4. 1 学術情報委員会

第1回(4月11日)

(1) 委員の確認について

(2) 今年度の運営方針について

(3) 報告事項 (包括連携協定に係る図書館の共同利用について、SCS事業連

絡協議会報告)

第2回(12月18日)

- (1) 津山工業高等専門学校学術成果リポジトリ登録要項の制定について
- (2) 電子ジャーナル(MathScinet)の経費負担について
- (3) その他(SCSの撤去について 他)

4. 2 総合情報センター運営小委員会

第1回(4月3日)

(1) H20年度総合情報センター運営基本方針:e-mailを活用した委員会運営とすることなど (2) H20年度役割分担について (3) 各部門の重点事項:次期教育システム更新の調査開始, tdsファイルサーバ切り替え, VPN導入検討, グループウェアなどの運用ガイドラインの整備など (4) 確認事項:新任教員への周知事項など (5) その他:連絡会のことなど

第2回(5月22日メール会議)

(1) 教育情報システムの運用管理及び支援について:4年生向け情報セキュリティ教育資料についてなど (2) 情報ネットワークの運用管理について:各種サーバのバージョンアップ対応など (3) 情報ネットワークの支援について:本校公式HPの新年度に関わる各種の更新対応など (4) 事務処理システムの運用管理及び支援について:ドキュメントサーバの運用・管理のガイドライン及びグループウェアの運用方針について運営会議に諮ったことなど

第3回(6月30日メール会議)

(1) 教育情報システムの運用管理及び支援について:演習室の利用マナー不良学生への対応の検討など (2) 情報ネットワークの運用管理について:ゲームサイトのProxy制限の実施など (3) 情報ネットワークの支援について:本校公式HPの更新対応など (4) その他

第4回(9月26日メール会議)

(1) 教育情報システムの運用管理及び支援について:演習室機器のトラブル対応など (2) 情報ネットワークの運用管理について:ドキュメントサーバとしてtds3を立ち上げたことなど (3) 情報ネットワークの支援について:本校公式HPの更新対応など (4) その他:センター報13号の発送についてなど

第5回(11月21日メール会議)

(1) 教育情報システムの運用管理及び支援について:学生向け情報倫理ガイドラインを作成し教務係に周知を依頼したことなど (2) 情報ネットワークの運用管理について:Proxy server tps2を更新したことなど (3) 情報ネットワークの支

援について：本校公式 HP の更新対応など（４）事務処理システムの運用管理及び支援について：JABEE 審査の支援など（５）その他：設備マスタープランの検討など

第 6 回（１月 21 日メール会議）

（１）教育情報システムの運用管理及び支援について：演習室のエアコン修理など（２）情報ネットワークの運用管理について：SCS の撤去方針決定など（３）情報ネットワークの支援について：本校公式 HP の更新対応など（４）その他：ソフトウェアのライセンス管理を教員について総合情報センターが担当することになったことなど

第 7 回（３月 16 日メール会議）

（１）教育情報システムの運用管理及び支援について：マルチメディア室の各種機器更新についてなど（２）情報ネットワークの運用管理について：ドキュメントサーバを tds3 に切り替えたことなど（３）情報ネットワークの支援について：アンチウイルスソフトウェアを ESET に切り替える準備についてなど（４）事務処理システムの運用管理及び支援について：教務係からの答案スキャンシステムの 2 台目導入支援など（５）その他：中期計画の検討など

4. 3 総合情報センター連絡会

総合情報センター長，副センター長，および専門教員の 5 名で開いている総合情報センターの運営に関する定期的な打合せ会で，平成 20 年度は 18 回開きました。ここで話し合われ，報告された内容はすべて総合情報センター運営小委員会に報告されていますので，ここではその内容の報告は省略します。

5. 主要日誌（平成 20 年 4 月から平成 21 年 3 月まで）

- 4 月 1 日 電子メールのグループ別名の切り替え
- 4 月 3 日 第 1 回総合情報センター連絡会
- 4 月 3 日 第 1 回総合情報センター小委員会
- 4 月 3 日 総合情報センター利用者説明会（参加者 23 名）
- 4 月 21 日 第 2 回総合情報センター連絡会
- 4 月 22 日 各部署の責任者に対してセキュリティポリシーミニセミナーを開催
- 5 月 1 日 「つなかん」14 号を発行
- 5 月 12 日 第 3 回総合情報センター連絡会

5月22日 第2回総合情報センター小委員会（メール会議）
 6月 2日 第4回総合情報センター連絡会
 6月 2日 高専機構主催 KOALA 説明会（明石高専）に2名が要請により
 ～3日 出席
 6月16日 第5回総合情報センター連絡会
 6月30日 第3回総合情報センター小委員会（メール会議）
 6月30日 第6回総合情報センター連絡会
 7月 2日 総合情報センター報第13号発行
 7月14日 第7回総合情報センター連絡会
 8月 9日 総合情報センター休館（夏季休暇）
 ～17日
 8月28日 高等専門学校情報処理教育研究委員会第28回研究発表会（一
 ～29日 関高専）に4名が参加
 9月 1日 第8回総合情報センター連絡会
 9月18日 第9回総合情報センター連絡会
 9月26日 第4回総合情報センター小委員会（メール会議）
 10月 6日 第10回総合情報センター連絡会
 10月27日 第11回総合情報センター連絡会
 11月17日 第12回総合情報センター連絡会
 11月21日 第5回総合情報センター小委員会（メール会議）
 12月 1日 第13回総合情報センター連絡会
 12月12日 H20年度情報教育研究集会（北九州国際会議場）に1名が参
 ～13日 加
 12月15日 第14回総合情報センター連絡会
 12月24日 H20年度第1回本校教職員向けセキュリティセミナー（34
 名参加）
 12月27日 総合情報センター休館（冬季休暇）
 ～1月 5日
 1月15日 第15回総合情報センター連絡会
 1月21日 第6回総合情報センター小委員会（メール会議）
 2月 2日 第16回総合情報センター連絡会
 2月16日 第17回総合情報センター連絡会
 2月23日 ドキュメントサーバ tds3 への切り替え
 2月25日 第21回総合情報センター連絡会
 2月27日 第1回臨時総合情報センター小委員会（メール会議）

- 3月 9日 第18回総合情報センター連絡会
- 3月16日 第7回総合情報センター小委員会（メール会議）
- 3月16日 教育用PCの新年度に向けての更新作業
～17日
- 3月18日 SCS（Space Collaboration System）撤去工事完了
- 3月23日 マルチメディア室のAV機器更新，演習室のプロジェクター取
付け完了
- 3月30日 H20年度第2回本校教職員向けセキュリティセミナー（21
名参加）

6．総合情報センターの予算執行状況

総合情報センターに配分されている予算を，どのような用途に使ったかを報告します。

ここに報告するのは，経常経費で処置した物品等の主な物で，専用回線費用はのぞきます。また，ここに挙げたのは，用途別に分類した上で主要なもののみを示しており，すべての項目を網羅したものでないことをお断りしておきます。

（1）教育用設備・消耗品

・ソフトウェアライセンス（MSDN AA）	285,600 円
・MathType6	50,400 円
・Ngraph	119,000 円
・各演習室 AV 機器等更新	1,551,690 円
・マウスパッド他	43,728 円
・リサイクルトナーカートリッジ	122,430 円
・コピー用紙	67,420 円
・各演習室プリンタ修理	148,470 円

（2）運用管理用設備・消耗品

・サーバ（TRQX-1/50SA）	258,000 円
・サーバ（TRQC-1/32SA）	355,950 円
・ハードディスク	
（日立製 HDP725050GLA360 500G SATA300 7200）	12,568 円
（TS-OPHD-H2.0TGL 500G）	20,790 円
（外付け HD-HES1.0TU2）	15,960 円

・ RAID ベアボーンキット (ES-A08S-C2131/512/E1000-8/C)	458,000 円
・ ソフトウェア (翻訳ソフト他)	267,540 円
・ ウィルス対策ソフトライセンス	121,800 円
 (3) 図書費	 20,200 円
 (4) 広報費	
・ 総合情報センター報 13号(200部)	115,500 円

7. 平成21年度総合情報センター利用授業時間割

前期

曜日	時限	基礎情報演習室	応用情報演習室	マルチメディア室
月	1			電気電子創造演習Ⅱ
	2	電子制御工学実験Ⅲ S-5	電子制御工学実験Ⅲ S-5	E-3
	3			プログラミングⅡ
	4			C-2
	5		情報工学実験Ⅲ C-3	情報処理Ⅰ
	6			S-2
	7	情報処理特論 E-5		
	8			
火	1	情報工学実験Ⅰ C-1	電子制御実習Ⅰ S-1	
	2			情報リテラシー E-1
	3	機械設計製図Ⅲ M-3		CAD/CAM
	4			S-5
	5		情報処理基礎演習Ⅰ	創造英語
	6		専攻科1	S-4
	7			
	8			
水	1	プログラミングⅠ C-1		プログラミング言語
	2	電子制御基礎 M-1		C-3
	3	機械工学実験実習Ⅱ		創造英語
	4	M-2		C-4
	5		機械工学実験実習Ⅳ M-4	情報処理Ⅱ
	6			S-3
	7	情報処理Ⅱ		電子制御創造演習Ⅱ
	8	E-4		S-3
木	1		制御機器	実践英語Ⅱ
	2	電子制御工学実験Ⅰ S-3	S-5	専攻科2
	3		情報処理基礎演習Ⅰ	情報処理Ⅰ
	4		専攻科1	M-3
	5	情報処理Ⅱ	計算力学 専攻科2	数値解析
	6	M-5	機械工学実験実習Ⅲ M-3	S-5
	7	電子制御課題研究Ⅱ		電子制御創造演習Ⅰ
	8	S-3		S-2
金	1			
	2		情報工学実験Ⅳ C-4	
	3			創造英語
	4	設計製作課題演習 M-4		E-4
	5			創造英語
	6			M-4
	7			
	8			

後期

曜日	時限	基礎情報演習室	応用情報演習室	マルチメディア室
月	1			実践英語Ⅰ
	2	電子制御工学実験Ⅲ S－5	電子制御工学実験Ⅲ S－5	専攻科Ⅰ
	3			プログラミングⅡ
	4			C－2
	5	電気電子実験課題演習	情報工学実験Ⅲ C－3	情報処理Ⅰ
	6	E－3		S－2
	7	情報処理特論 E－5		
	8			
火	1	情報工学実験Ⅰ	電子制御実習Ⅰ S－1	
	2	C－1		情報リテラシー E－1
	3	機械設計製図Ⅲ M－3		CAD／CAM
	4			S－5
	5			創造英語
	6			S－4
	7			
	8			
水	1	プログラミングⅠ C－1		プログラミング言語
	2	情報リテラシー M－1		C－3
	3	機械工学実験実習Ⅱ	情報工学実験Ⅱ C－2	創造英語
	4	M－2		C－4
	5	産業と商業	機械工学実験実習Ⅳ M－4	情報処理Ⅱ
	6	5年全学科		S－3
	7	情報処理Ⅱ		電子制御創造演習Ⅱ
	8	E－4		S－3
木	1	情報リテラシー S－1	制御機器	情報科学
	2	電子制御工学実験Ⅰ S－3	S－5	専攻科Ⅰ
	3		情報処理基礎演習Ⅱ	情報処理Ⅰ
	4		専攻科Ⅰ	M－3
	5			数値解析
	6			S－5
	7	電子制御課題研究Ⅱ	機械工学実験実習Ⅲ M－3	電子制御創造演習Ⅰ
	8	S－3		S－2
金	1	応用機械設計 M－5		
	2			
	3		情報工学実験Ⅳ C－4	創造英語
	4	設計製作課題演習 M－4		E－4
	5			創造英語
	6			M－4
	7			
	8			

8. 平成21年度総合情報センター関連の委員と職員

平成18年度より、「学術情報委員会」が設置され、その下に「総合情報センター運営小委員会」「図書館運営小委員会」「紀要編集ワーキンググループ」が置かれるようになりました。これらの小委員会とワーキンググループは協力し運営され、関連する重要事項は「学術情報委員会」で審議されることになっています。以下に今年度の関連の委員と職員を掲載します。

8. 1 学術情報委員会委員

田邊 茂（総合情報センター長）	中岡尚美（図書館長）
長井 聡（総合情報副センター長，図書館長補）	
佐々井祐二（総合情報副センター長）	湊原哲也（図書館運営小委員会）
竹谷 尚（総合情報副センター長）	
宮地 弘（事務部長）	

8. 2 総合情報センター運営小委員会委員

センター長	：	田邊 茂	
副センター長	：		
長井 聡	（教育システム運用管理部門長）		
佐々井祐二	（情報ネットワーク運用管理部門長）		
竹中 尚	（事務処理システム運用管理部門長）		
センター員	：		
岡田 正	（校長が必要と認める教員）		
加藤 学	（機械工学科）	中村重之	（電気電子工学科）
竹谷 尚	（電子制御工学科）	宮下卓也	（情報工学科）
有本 茂	（一般科目）	竹中正巳	（総務課）
岩崎正樹	（学生課）	藤澤 浅	（地域連携・広報室）
専門教員	：	寺元貴幸	
専門職員	：	日下孝二	

8. 3 総合情報センター職員

上記の総合情報センター運営小委員会メンバー
事務職員 : 松浦慈子

9. 津山高専教職員のメールアドレス

注) 学外からのメールは次のように表記。

ユーザー名 @ tsuyama-ct.ac.jp

2009/4/1 現在

組織名	登録者名	ユーザ名
校長	稲葉 英男	inaba
機械工学科	藤原 敏	fujiwara
	吉富 秀樹	yositomi
	福田 昌准	fukuda
	佐藤 紳二	ssato
	小西 大二郎	konishi
	井上 浩行	inoue
	塩田 祐久	shiota
	大野 威徳	oono
	橋本 淳	j-hashii
	加藤 学	kato
	北條 智彦	hojo
電気電子工学科	伊藤 國雄	ito
	下西 二郎	jiro
	田邊 茂	tanabe
	植月 唯夫	uetsuki
	原田 寛治	harada
	佐藤 信廣	satou
	中村 重之	nakamura
	長井 聡	nagai
	前原 健二	maehara
	西尾 公裕	nishio
	八木 秀幸	yagi

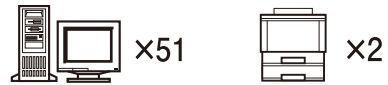
電子制御工学科	樋口 敏三 鳥家 秀昭 山本 吉範 野村 健作 竹谷 尚 細谷 和範 谷口 浩成 湊原 哲也	higuchi toya yamamoto nomura taketani hosotani taniguti minato
情報工学科	岡田 正 河合 雅弘 大平 栄二 藪木 登 坂井 良広 宮下 卓也 大西 淳 寺元 貴幸 菊地 洋右 曾利 仁 藤田 一寿	okada kawai ohira yabuki sakai miyasita a-onishi teramoto kikuchi sori k_fujita
専門共通科目	最上 勲 佐々井祐二	mogami sasai
一般科目	三浦 和久 俣野 好治 中岡 尚美 有本 茂 大田 肇 杉山 明 佐藤 誠 稲田 知巳 吉田 英治 Eric Scott Rambo 松田 修 横谷 正明 古樋 直己 荒木 祥一	miura matano nakaoka arimoto oota a-sugi satom inada yoshida rambo matsuda yokotani furuhi araki

	角谷 英則 山本 浩二 久保川 晴美 江原 由美子	kadoya yama-k kubokawa ehara
事務部長	宮地 弘	miyadi
総務課	田川 隆 藤原 浩一 山下 泰彦 竹中 正巳 松原 啓充 大智 恵理子 杉原 珠恵 青井 佳栄 板野 行浩 佐藤 良子 塩根 小百合 三嶋 洋平 野村 卓也 岸部 欣伸 長宗 理恵 藤堂 直彦 原 強治	tagawa fuji-k yamasita takenaka matubara ooti sugihara aoi itano rsato shione mishima nomura-t yoshi nagamune toudou hara
学生課	此枝 昇 庄司 知広 土屋 信雄 岩崎 正樹 武川 将也 福山 佳奈 森藤 尊広 玉置 知子 出原 泰彦 正木 美加 小松 敬 藤原 智孝 松浦 慈子	konoeda shouji tsuchiya iwasaki takekawa fukuyama moritou tamaki idehara masaki komatsu fuji-t matuura

地域共同テクノセンター 地域連携・広報事務室	大重 広明	oshige
	藤澤 浅	fujisawa
	天野 真梨子	amano
教育研究支援センター	中尾 三徳	nakao
	神田 尚弘	kanda
	河原 みほ	kawano
	川村 純司	kawamura
	大谷 賢二	otani
	中島 哲史	nakasima
	西川 弘太郎	nisikawa
	永禮 康恵	nagare
	上田 達男	ueda
	日下 孝二	kusaka
	塩田 裕司	y-shiota
	赤荻 勝	akaogi
	西 彰矩	nishi
	徳方 孝行	tokuho
	河野 トキエ	kouno
	村田 敏美	murata

基礎情報演習室

■Windows XP パソコン51台とネットワークプリンタ2台が設置されており、リテラシー教育やプログラミング教育に用いられている。



応用情報演習室

■Windows XP パソコン17台とネットワークプリンタ1台が設置されており、リテラシー教育やプログラミング教育に用いられている。常時WWWブラウザによるインターネット接続(学外接続)が可能であり、放課後はクラブ活動や学生の情報検索に広く利用されている。



マルチメディア室

■Windows XP パソコン51台とネットワークプリンタ2台が設置されており、リテラシー教育やプログラミング教育に用いられている。また、教師PCの映像はPCの中間に増設したLCDに表示されるようになっている。



ネットワークプリンタ

【基礎2台、応用1台、マルチメディア室2台】

ネットワークプリンタLP-9200BZ EPSON LP-9200BZ
A3モノクロ両面印刷対応
2段カセット+手差カセット
100Base-TX+USB2.0



ハードウェア

エプソンダイレクトAT955-TK1
Pentium4 2.66GHz/512MB Memory/40GB HDD
48倍速CD-ROM/3.5" FDD/1000BASE-T NIC
17" LCD/光学式マウス/サウンド機能

ソフトウェア

全室共通
OS: Windows XP Professional
オフィス: Microsoft Office 2003 Professional
: OpenOffice.org 2.0
辞書: BookShelf 3.0
数式作成ツール: Math Type 6
CAD: AutoCAD 2006 (同時起動49台まで)
: Solid Works 2005 SP3.1 (同時起動100台まで)
: JW_CAD 5.00e
グラフィックス: Visio Pro 2003
: HALCON Ver.7 (デモ版)
: Paint Shop Pro 7J
可視化ツール: Micro AVS 6.0 教科書版
プログラミング: Visual Studio .NET Pro 2003
C++ コンパイラ: Borland C++ Compiler 5.5

グラフィックス・ライブラリ: GrWinグラフィックス・ライブラリ
BASIC: 十進BASIC Ver.5.4.3
Fortran: g77 v.2.95 for MinGW32
解析ソフト: MATLAB 7.0.1 R14 SP1 (同時起動50台まで)
英語学習: ALC-NetAcademy
エディタ: TeraPad 0.89a
圧縮・解凍: +Lhaca デラックス版 1.24
FTP: FFFFTP 1.92a
タイピング: 美佳のタイブトレナー 2.06
グラフ作成: Gnuplot 4.0
2次元グラフ作成: Ngraph for Windows Ver.6.03
組版ソフト: LaTeX2e 角藤版 Web2C-7.5.5
DVIVIEWer: Dviout 3.17
PostScriptViewer: Ghostscript 8.53
PostScriptViewer (GNU): GhostView 4.7
UNIX環境: Cygwin 1.5.18-1
メールソフト: AL-Mail 1.13a
ドキュメント閲覧: Adobe Reader 8.1.2
PDF作成: Redmon Ver.1.7
PDF結合等: ConcatPDF 1.1.4
通信: Tera Term Pro 2.3+TTSH 1.5.4 日本語化
回路網シミュレータ: ATP Draw 4.0p2
回路シミュレータ: MicroSim Pspice A/D 7.1.3
汎用回路図設計ツール: OrCad 9.2 LiteEdition CD-ROM 9.2
回路図作成: GuenCAD 2.04
授業支援システム: Wing-NET Ver.6

応用演習室のみ

可視化ソフト: MicroAVS 9.0 Std
解析ツール: ANSYS ED Ver.9

教育用 Windows サーバ

■ドメインコントローラ兼授業支援サーバ

日本ヒューレット・パッカード ML350 R04p X3000-2M
OS Windows Server 2003
Xeon 3.40GHz/2GB Memory/HDD SCSI Ultra 320 72.8GB×2
CD-ROM/3.5" FDD/1000BASE-T NIC/17" LCD
外付けRAID(日本ヒューレット・パッカード349239-B21)

■ドメインコントローラ兼教育端末管理用サーバ

日本ヒューレット・パッカード ML350 R04p X3000-2M
OS Windows Server 2003
Xeon 3.40GHz/2GB Memory/HDD SCSI Ultra 320 72.8GB×2
CD-ROM/3.5" FDD/1000BASE-T NIC/17" LCD
USBストレージ 250GB
端末管理用ソフト Altiris Deployment Server6.1
バックアップ用ソフト Live State Recovery Adv Server 3.0

ネットワーク機器

■サーバおよび各演習室基幹スイッチ(1台)

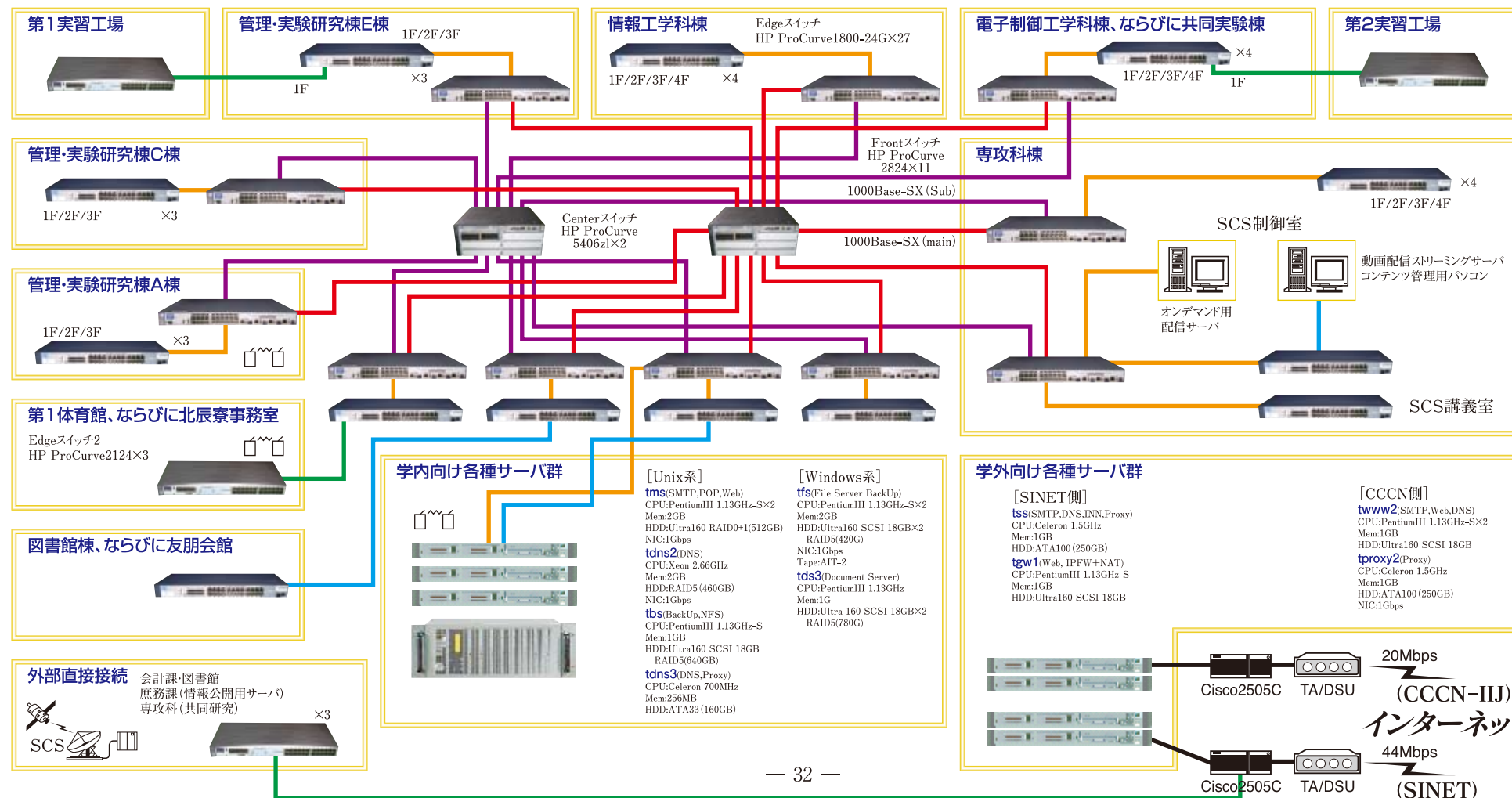
日本ヒューレット・パッカード ProCurve2824
GigaPort×20ポート+Gigabit-SX-LC mini-GBIC

■各演習室用スイッチ(7台)

DELL PowerConnect2724
DELL Gigabit-SX-LC mini-GBIC 1

カラー複合機 (1台)

ネットワークカラー複合機LP-M5500Z EPSON LP-M5500Z
A3カラー両面印刷対応
600x1200dpiA3スキャナ
2段カセット+手差カセット
100Base-TX+USB2.0



校内ネットワーク & サーバ室

■光ファイバによる1Gigabit基幹ネットワークに、スイッチングHUB経由で、全校のどこからでもネットワークにアクセスできる。また44Mbpsと20Mbpsの2回線の専用回線でインターネットに常時接続されている。学内ネットワークならびに学外向けの情報を提供する各種サーバ、大容量ディスク、バックアップシステムなど多数の機器がサーバ室で稼働している。

2009.7現在

編集後記

総合情報センター報第14号を発行することができました。田邊センター長をはじめとして、原稿をお寄せ頂いた皆様に感謝いたします。

現在もまだ続いていますが、平成20年度後期は例年になくウィルス対策に追われた半年となりました。学生の自宅パソコンのウィルス対策が不完全のため感染し、ウィルス付のUSBメモリを学校に持ち込み、感染を広げる構図となっています。やはり、ウィルス対策ソフトのパターンファイルの最新版へのアップデートとWindowsアップデートの実施が必要ですし、何よりも利用者の情報セキュリティ意識が大切です。また、これに関連して、より強力なウィルス対策ソフトへの変更を3月に行いました。この他、今年度も特に問題もなく教育システム、ネットワーク、事務システムの利用を行うことが出来ました。日頃、熱心に活動されている総合情報センター関係者のご尽力が忍ばれます。

総合情報センターの提供するサービスについても、現状に満足することなく、利用者に真に役立つよう、毎年の改善を積み重ねていく必要があります。

(佐々井)

発行日 2009年6月(第14号)

編集発行 津山工業高等専門学校
総合情報センター

〒708-8509 岡山県津山市沼624-1

Tel. 0868-24-8226 (ダイヤルイン)

Fax. 0868-24-4403

E-mail: staff@tsuyama-ct.ac.jp

URL <http://www.tsuyama-ct.ac.jp/>

<http://www2.tsuyama-ct.ac.jp/>

総合情報センター報(電子版) URL

<http://www.tsuyama-ct.ac.jp/honkou/shisetsu/sjc/c-hou.htm>